

群馬県自動車車体整備協同組合

福島行孝理事長 談 設立：昭和39年

未来へのメッセージ

今後ますます進む世代交代を見据え、群車協の組織力と団結力をもって、後継者を育成していきます。さらに、組合員の情報交換を活性化させ、近未来への挑戦を続けていきます。



1枚の写真（組合統一看板）

平成9年3月、シンボルマークの「BP（ボディ・ペインティング）」をアレンジし、組合員360人余の大半の受注を受け、組合統一看板を製作しました。この統一看板の下、「お客様に安心と信頼を提供できるのは、群車協の組合員」というPRを続け、群車協の存在をアピールしています。

漢字一文字

時代の流れによって自動車の構造が変貌し、昔も今もこれからもますます技術が必要になっています。特に新素材・新技術に対する技であり、多様化するニーズに対応するためには、必要不可欠なものであると考えています。



群馬県素材生産流通協同組合

内山右之助専務理事
新井 隆夫理事 談 設立：昭和53年

未来へのメッセージ

平成26年より、森林資源の保護・育成を目的に木質バイオマス発電用燃料チップの加工販売を開始しています。今後も、森林・林業のあるべき姿を求めて絶えず努力して参ります。



1枚の写真（先進地視察）

当組合では、組合設立当時から40年近くにわたって、毎年、先進地視察並びに技術研修会を開催しています。技術向上や知識習得を図るだけでなく、組合と組合員相互の親睦を深める貴重な機会となっています。今後も、組合の伝統的な行事として継続していきたいと考えています。

漢字一文字

素材生産業者の集まりである当組合では、これまで「原木の確保・安定供給」に取り組んで参りました。木材産業を取り巻く環境は変化を続けるとともに、厳しさを増しておりますが、この「原点」を忘れることなく、組合と組合員が一丸となり前進していきたいと思えます。



前橋旅館ホテル協同組合

千木良芳明理事長 談 設立：昭和61年

未来へのメッセージ

前橋へインバウンドの波が押し寄せることを見据え、魅力ある宿泊サービスを築き、次世代へビジネスホテル業のバトンを繋ぐため、走り続けたいと思います。



1枚の写真（料理講習会）

前橋市では、ニューイヤード伝、赤城山ヒルクライム大会や学生のスポーツ大会などのイベントが頻りに開催され、組合員は、多くのアスリートの宿泊を受け入れています。そこで、数年前より、出場選手向けのレシピ作りや調理実習を定期的に行い、おもてなしの向上を目指しています。

漢字一文字

旅館業の歴史は古く、人が移動することを止めない限り、この先も続いていく商売だと言えます。しかし、現状に満足することなく、お客様ニーズや環境の変化に目を向け、今を越える努力を惜しまず、都市機能の一部としての責務を果たします。



企業組合 S. R. D

高橋則行理事長 談 設立：平成15年

未来へのメッセージ

難病で上手く意思を伝えることができない方々が、病気が進行する中で少しでも自分の意思を伝えることができるよう、意思伝達装置を改良・開発して提供していきます。



1枚の写真（意思伝達装置を使って授業を受ける小学生）

当組合の意思伝達装置「話想」を使うことで、脊髄性筋萎縮症を患っている女兒が、小学校の授業を受けることができました。本分野に深く関わっていくこととなった一番のきっかけでもあります。難病を患った方が心を伝えることができ喜び姿が、一番の原動力になります。

漢字一文字

字義である「賢さ」と「いつくしみの心」。賢さだけでなく、いつくしみの心を常に忘れず、事業を進めていきたいと考えています。また、読みの「レイ」からは数字の「0」を連想でき、事業を開始した頃の新鮮な気持ちを忘れずに、日々の職務を遂行していきます。

